

令和元年度 三重大学教育満足度調査 報告書（概要版）

第 I 部 学部生対象

1. 調査目的 三重大学の中期目標を達成するための措置として、令和元年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学に在籍する全ての学部生 6,028 名
- (2) 調査時期 令和元年 12 月～令和 2 年 1 月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる 2 種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 回収したデータのなかから、所属が不明な学生と在籍年数が 5 年目以上の学生（医学科は 7 年目以上の学生）を除いた有効回答者数 2,061 名（34.2%、昨年度は 35.2%）を分析対象者とした。

表1.1.2 分析対象者数(学部生)

	人文		教育		医		工							生物資源					合計		
	文化学科	法律経済学科 (社会科学学科)	学校 成課程 教育 教員 養成	人間 発達 科学 課程	医 学科	看 護 学 科	機 械 工 学 科	電 気 電 子 工 学 科	分 子 素 材 工 学 科	建 築 学 科	情 報 工 学 科	物 理 工 学 科	総 合 工 学 科	資 源 循 環 学 科	共 生 環 境 学 科	生 物 圏 生 命 科 学	生 物 学	海 洋 生 物 学		生 物 資 源 学	
在籍年数	1年目	54	29	75	0	5	55	5	7	0	5	1	0	213	23	47	0	19	18	556	
	2年目	9	41	60	0	2	67	74	15	88	2	8	29	0	50	28	3	47	15	538	
	3年目	17	41	77	0	4	50	60	49	79	36	0	7	0	22	18	1	45	16	522	
	4年目	25	39	59	0	1	44	21	21	22	19	19	14	0	21	32	44	0	0	381	
	5年目	—	—	—	—	62	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62
	6年目	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
小計 (学部ごと)	105	150	271	0	76	216	160	92	189	62	28	50	213	116	125	48	111	49	2,061		
	255		271		292		794							449							

全回収数のうち、在籍年数・在籍学部が不明な学生と医学部医学科学生で在籍年数を「7年目以上」と回答した学生、および医学部医学科以外の学生で在籍年数を「5年目」「6年目」「7年目以上」のいずれかに回答した学生を分析対象外とした。

3. 結果

三重大大学の教育に関する46項目について、平均値と満足群を算出した。

(1) 平均値

満足の程度を表す6段階評定において、「非常に不満」を1点、「不満」を2点、「やや不満」を3点、「やや満足」を4点、「満足」を5点、「非常に満足」を6点とし、平均値を算出した。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。各項目に対して学生が経験したことがない場合や知らない場合のために、6段階とは別に「回答できない」という選択肢を設けた。「回答できない」を選択した学生データは、欠損値（無回答）と同様に扱った。

(2) 満足群

6段階評定のうち、「やや満足」もしくは、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した学生の割合を満足群とした。

3.1 大学全般についての満足度

「②三重大大学の研究水準について」は、前年度と同様に、平均値・満足群ともに高く、満足度が非常に高かった（平均値=4.30；満足群=87.6%）。「①三重大大学の教育全般について」と「④事務職員の窓口での学生対応」については、いずれも80%以上の学生が満足しており、満足度が非常に高かった。他方、「③学生の意向（授業評価など）が授業に反映されるなど三重大大学の教育を改善しようとする大学の姿勢」については、他の項目と比較すると、満足を示す学生の割合が若干低かった。

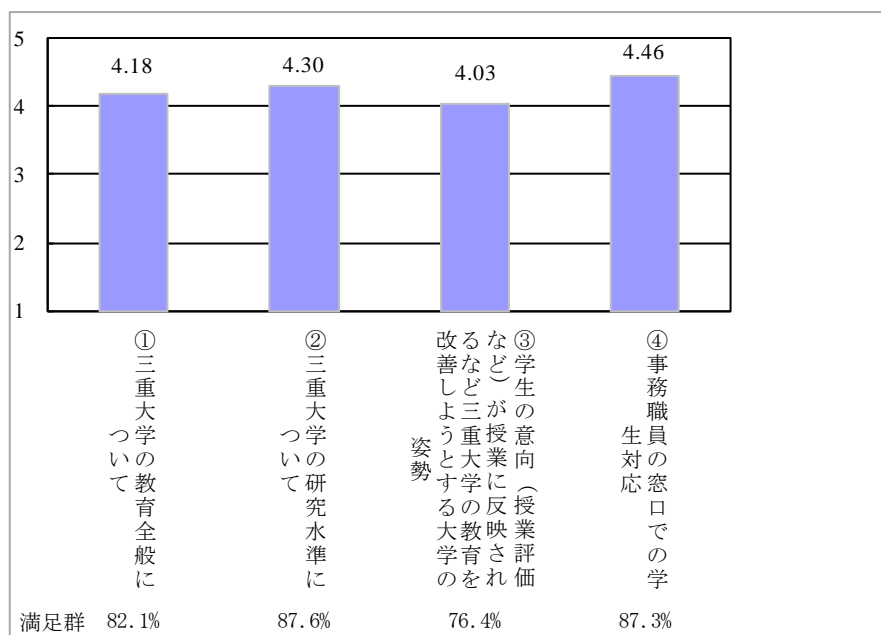


図1 令和元年度 大学全般についての満足度(学部生)

3.2 学外との連携についての満足度 (図2)

「⑤留学支援や国際交流」と「⑥現場体験実習やインターンシップなどの機会」の両項目とも平均値が高く、約87%以上の学生が学外との連携に対して満足していることが示された。

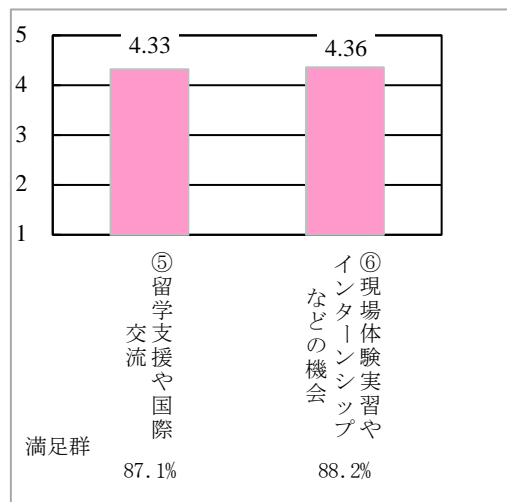


図2 令和元年度 学外との連携についての満足度(学部生)

3.3 情報提供についての満足度 (図3)

「⑦休講状況を迅速に学生に伝達するシステム」については、満足を示す学生の割合は比較的低かった。一方「⑧ホームページなどによる大学の教育・研究活動の情報提供」については、ほぼ8割の学生が満足している(満足群=79.6%)。

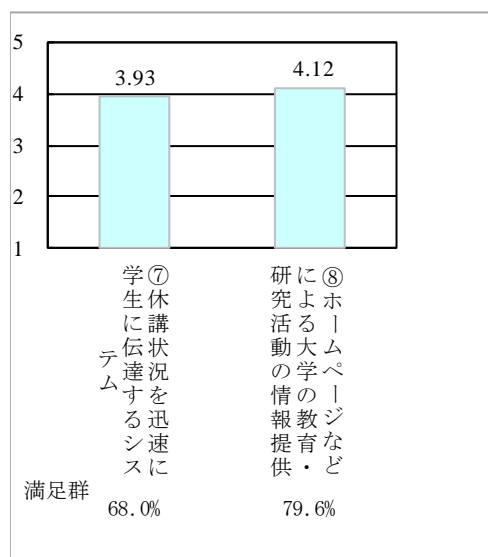


図3 令和元年度 情報提供についての満足度(学部生)

3.4 学習環境と施設・設備についての満足度

満足度が非常に高い項目が多かった。学習環境や施設・設備について、多くの学生が満足していることが示された。一方、「⑱駐輪場の設置場所や設置数」は、全項目中で満足度が最も低かった(満足群=68.5%)。

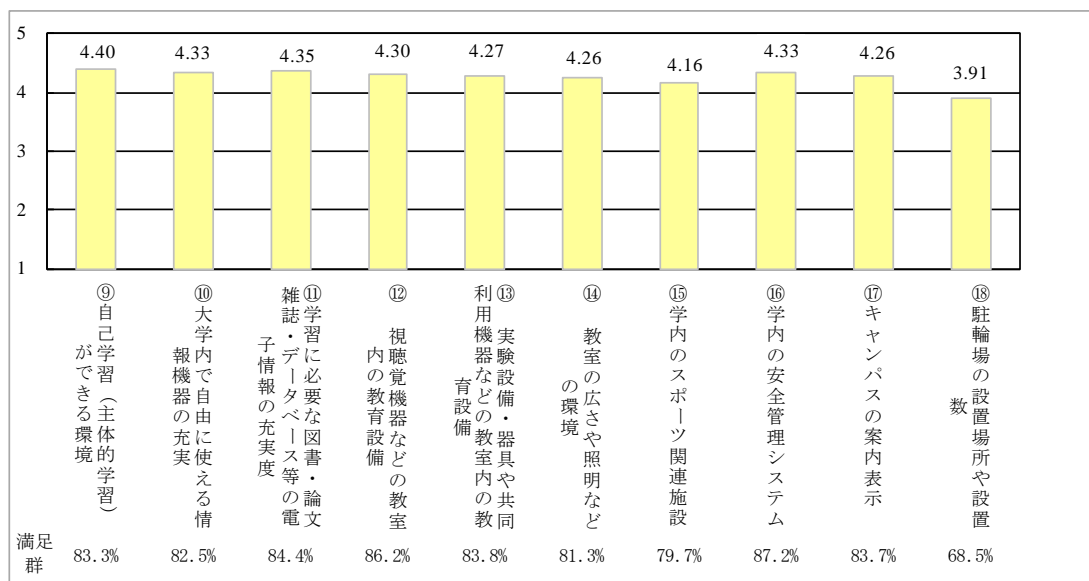


図4 令和元年度 学習環境と施設・設備についての満足度(学部生)

3.5 評価・カリキュラムについての満足度

他のカテゴリと比べると「評価・カリキュラム」についての満足度がやや低かった。

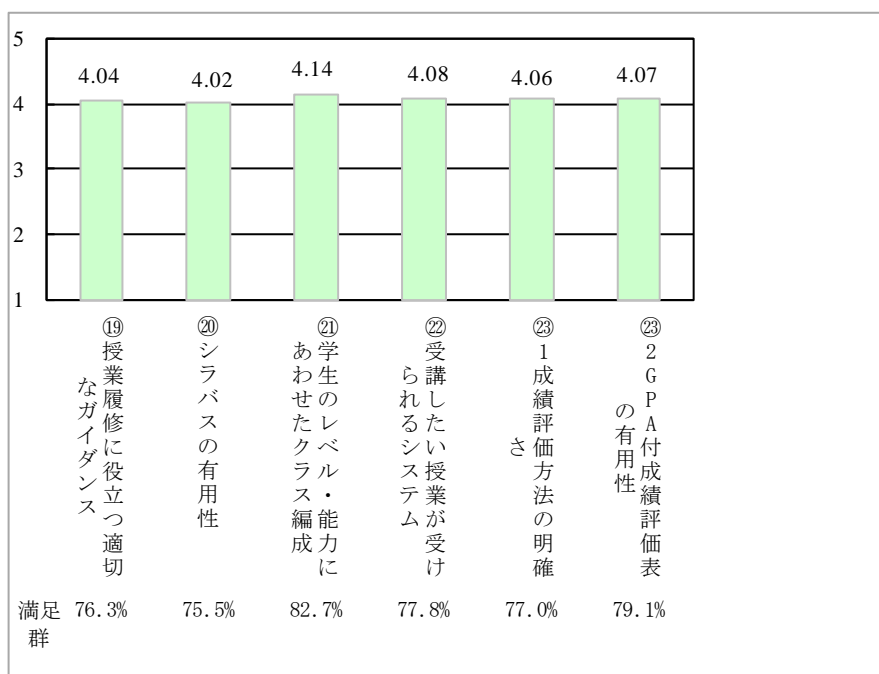


図5 令和元年度 評価・カリキュラムについての満足度(学部生)

3.6 進路支援についての満足度

「②⑥資格や免許を取得することに対する大学の支援」や「②⑧大学院進学に役立つ教育の提供」などの項目の満足度が、このカテゴリではやや低かった。

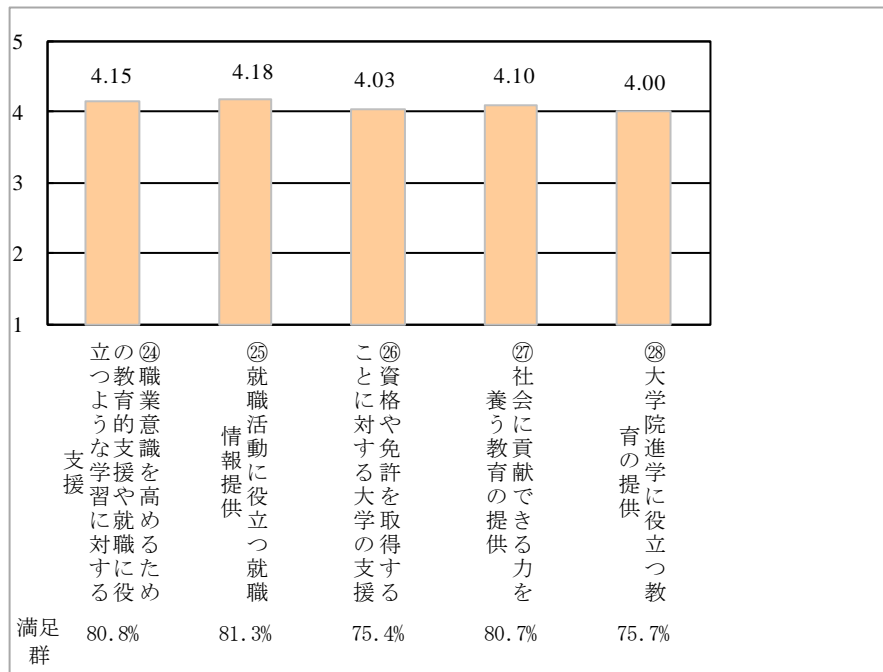


図6 令和元年度 進路支援についての満足度(学部生)

3.7 学生サポートについての満足度

カテゴリ内項目全ての満足度が比較的高かった。

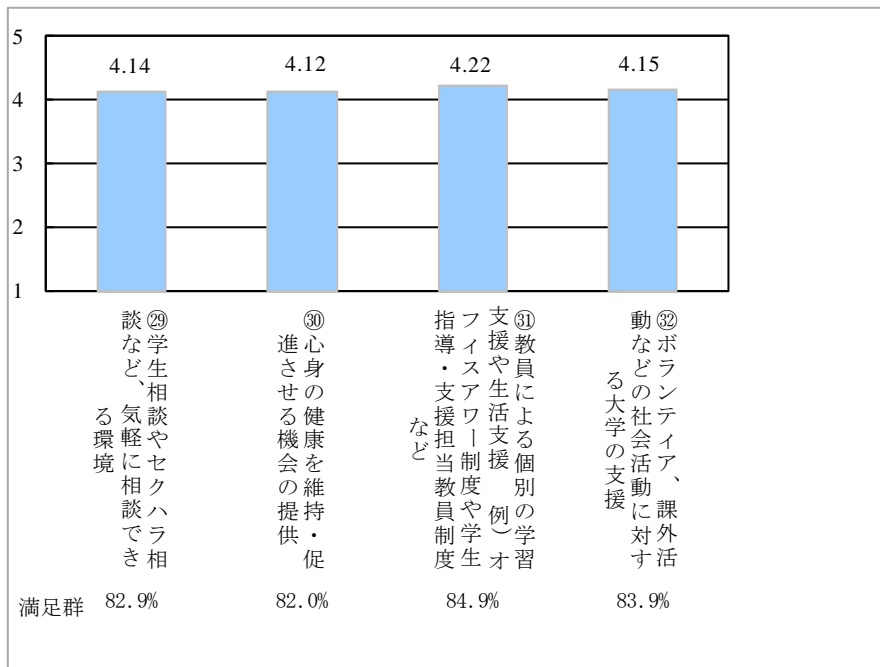


図7 令和元年度 学生サポートについての満足度(学部生)

3.8 授業についての満足度

満足度の高い項目が多かった。特に、「③④学部専門の授業」「③⑦保健体育に関連した授業」「③⑨教養教育/共通教育のカリキュラム（教育課程）」「④②実習をともなう授業」「④⑤卒業研究指導」などの平均値は高く、満足している学生の割合は84%以上であった。特に「④⑤卒業研究指導」の満足度の平均値が最も高かった。このことから、カリキュラム全体における卒業研究の基本的な位置付け及び教育効果を改めて活かす必要がある。総じて、様々な種類の授業に対して非常に多くの学生が満足していることが示された。

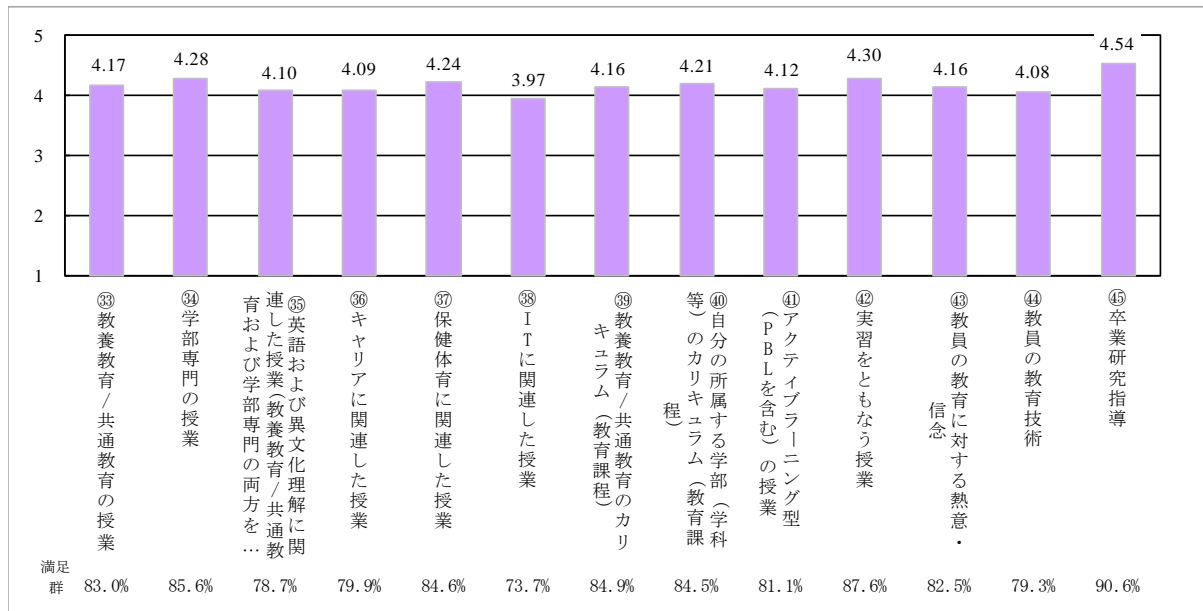


図8 令和元年度 授業についての満足度(学部生)

第Ⅱ部 大学院生対象

1. 調査目的 (p1 を参照)

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学大学院に在籍する全ての大学院生 1,111
- (2) 調査時期 令和元年12月～令和2年1月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる2種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 回収したデータのなかから、修士/博士前期課程の在籍年数が3年目以上の学生と博士/博士後期課程の在籍年数が4年目以上の学生を除いた有効回答者数406名(36.5%、昨年度は40.2%)を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数(大学院生)

	科人 文社 学会	教 育 学	医 学 系	工 学	生 物 資 源 学	ンベ地 域 シイ 学ヨノ	合 計
修士/博士前期	7	50	10	158	100	20	345
博士/博士後期			29	9	18	5	61
合計	7	50	39	167	118	25	406

3. 結果

三重大学大学院の教育に関する 23 項目について平均値と満足群を算出した。（算出方法は p1 を参照）。

3.1 大学全般についての満足度

修士/博士前期課程

カテゴリ内では「③学生の意向が教育に反映されるなど、三重大学大学院の教育を改善しようとする大学の姿勢」の満足度がやや低かった。

博士/博士後期課程

「①三重大学大学院の教育全般」「②三重大学大学院の研究水準」は、平均値がいずれも 4.68 点（6 段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる）以上と非常に高く、約 86%以上の学生が満足していることが示された。

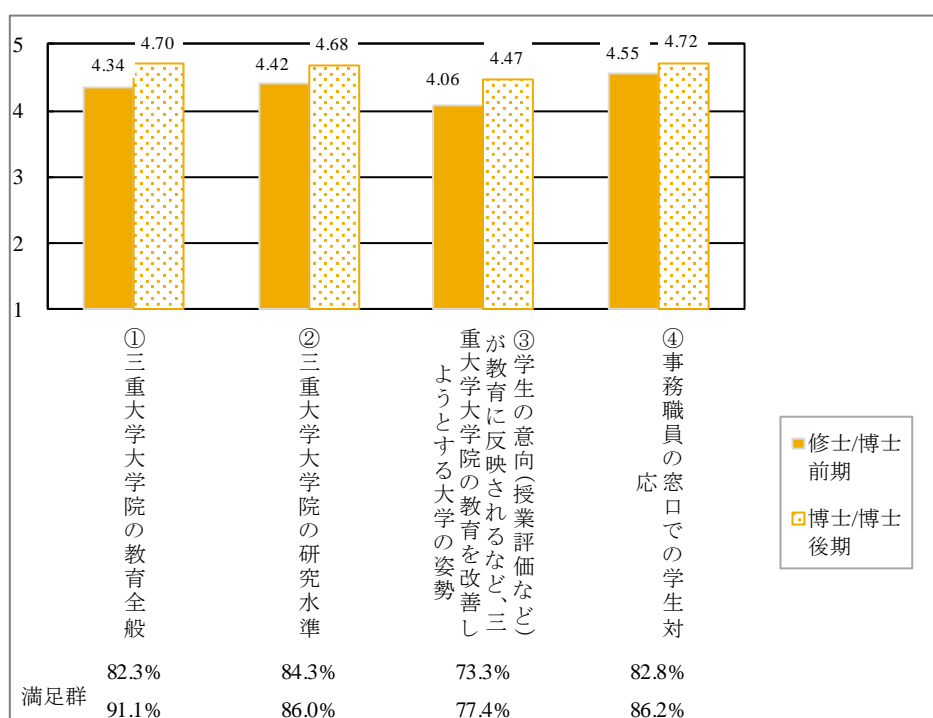


図9 令和元年度大学全般についての満足度（研究科学生）

3.2 大学院の教育についての満足度

修士/博士前期課程

全項目の平均値が4.2点以上と比較的高かった一方で、カテゴリ内では「⑤大学院の授業科目構成」「⑥大学院の授業」「⑨現場体験や現場実習」の満足度がやや低かった。

博士/博士後期課程

全項目の平均値が4.6点以上と非常に高いことが示された。カテゴリ内では「⑦アクティブラーニング型（PBLを含む）の授業」の満足度がやや低かった。

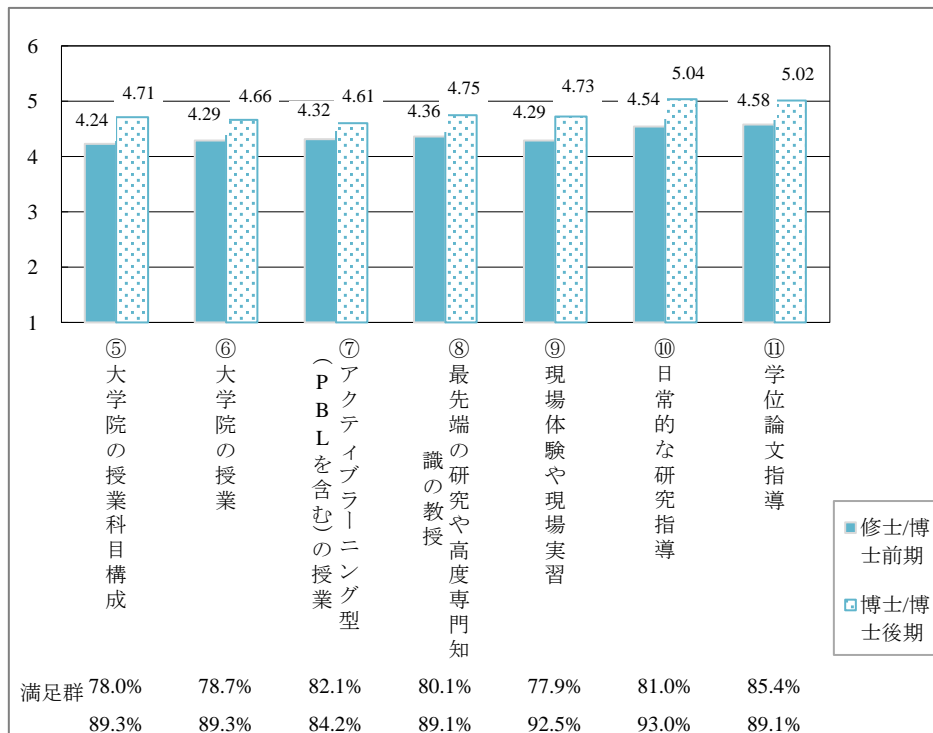


図10 令和元年度大学院の教育についての満足度（研究科学生）

3.3 研究環境についての満足度

修士/博士前期課程

「⑮研究室内の人間関係」は、平均値が4.85点（6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる）以上と非常に高く、約90%以上の学生が満足していることが示された。

博士/博士後期課程

カテゴリ内では「⑫研究を進めるための環境整備」「⑬研究設備（IT環境、AV機器、実験設備等）の充実」の平均値がやや低かった。

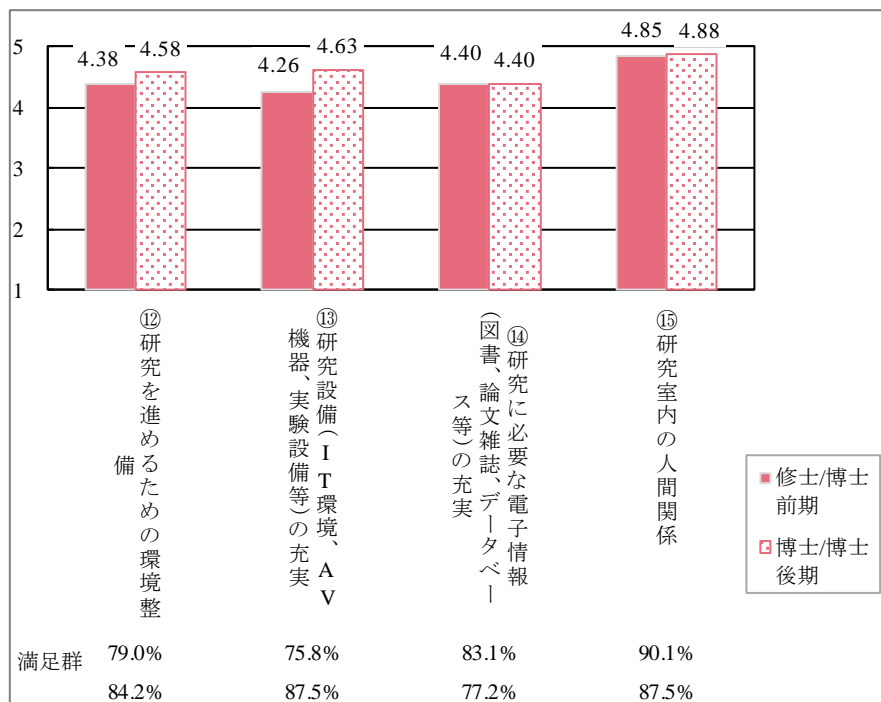


図11 令和元年度研究環境についての満足度（研究科学生）

3.4 学生サポートについての満足度

修士/博士前期課程 カテゴリ内で満足度が高い項目としては、「⑰就職に役立つ情報提供などの支援」が挙げられる。「⑱博士課程への進学に役立つ情報提供」は、修士/博士前期課程の全項目中で平均値が4以下と比較的低かった。

博士/博士後期課程 「⑳研究を進めるための財政支援」については、博士/博士後期課程の全項目中で満足度の割合が比較的低かった。

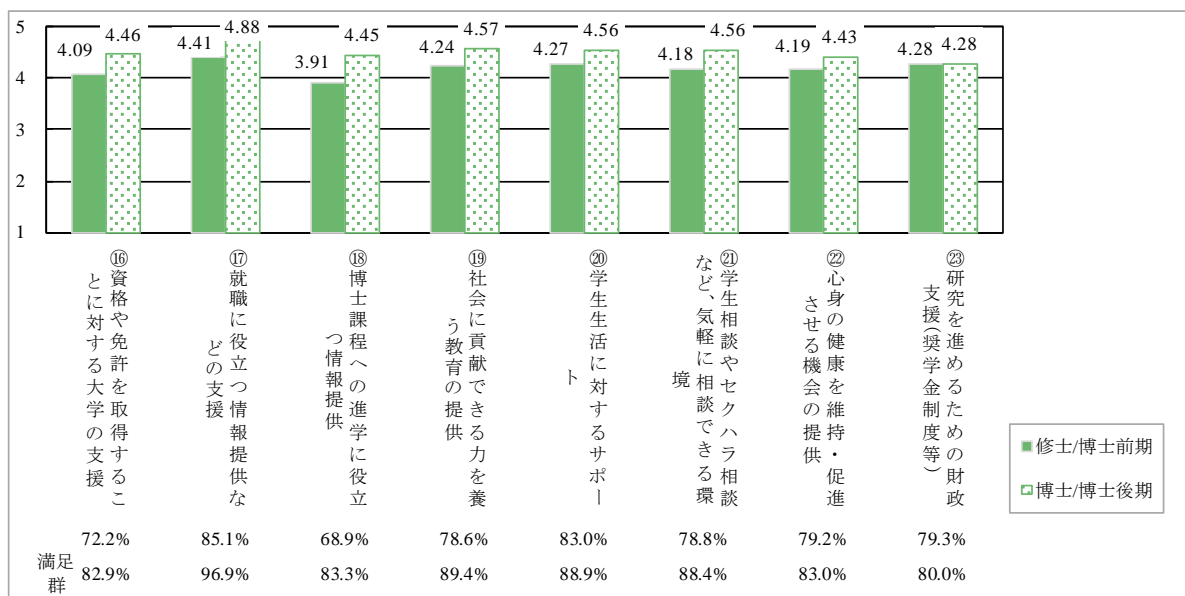


図12 令和元年度学生サポートについての満足度 (研究科学生)

付録1 平成30年度と令和元年度の満足度平均値と満足群について(全学部学生)

カテゴリ	項目	平均値			満足群(%)		
		R1	H30	R1-H30	R1	H30	R1-H30
大学全般	1 三重大の教育全般について	4.18	4.18	0.00	82.1	80.9	1.11
	2 三重大の研究水準について	4.30	4.30	0.00	87.6	85.3	2.35
	3 学生の意向(授業評価など)が授業に反映されるなど、三重大の教育を改善しようとする大学の姿勢	4.03	4.04	-0.02	76.4	74.9	1.45
	4 事務職員の窓口での学生対応	4.46	4.45	0.01	87.3	85.6	1.70
連と学携の外	5 留学支援や国際交流	4.33	4.35	-0.02	87.1	86.0	1.09
	6 現場体験実習やインターンシップなどの機会	4.36	4.39	-0.03	88.2	85.6	2.58
提情報	7 休講状況を迅速に学生に伝達するシステム	3.93	4.01	-0.08	68.0	67.6	0.39
	8 ホームページなどによる大学の教育・研究活動の情報提供	4.12	4.13	-0.01	79.6	79.5	0.08
学習環境と施設・設備	9 自己学習(主体的学習)ができる環境	4.40	4.35	0.06	83.3	83.2	0.10
	10 大学内で自由に使える情報機器の充実	4.33	4.28	0.05	82.5	80.2	2.24
	11 学習に必要な図書・論文雑誌・データベース等の電子情報の充実度	4.35	4.37	-0.02	84.4	84.8	-0.32
	12 視聴覚機器などの教室内の教育設備	4.30	4.31	-0.01	86.2	86.8	-0.54
	13 実験設備・器具や共同利用機器などの教室内の教育設備	4.27	4.29	-0.02	83.8	84.7	-0.88
	14 教室の広さや照明などの環境	4.26	4.29	-0.03	81.3	81.7	-0.41
	15 学内のスポーツ関連施設	4.16	4.15	0.01	79.7	77.6	2.12
	16 学内の安全管理システム	4.33	4.33	0.00	87.2	87.3	-0.09
	17 キャンパスの案内表示	4.26	4.22	0.04	83.7	80.9	2.83
18 駐輪場の設置場所や設置数	3.91	3.94	-0.03	68.5	67.7	0.81	
評価・カリキュラム	19 授業履修に役立つ適切なガイダンス	4.04	4.04	0.00	76.3	75.2	1.15
	20 シラバスの有用性	4.02	4.06	-0.04	75.5	76.1	-0.54
	21 学生のレベル・能力にあわせたクラス編成	4.14	4.14	0.00	82.7	80.4	2.21
	22 受講したい授業が受けられるシステム	4.08	4.09	-0.01	77.8	75.9	1.88
	23-1 成績評価方法の明確さ	4.06	4.08	-0.02	77.0	76.9	0.08
23-2 GPA付成績評価表の有用性	4.07	4.09	-0.01	79.1	79.1	-0.01	
進路支援	24 職業意識を高めるための教育的支援や就職に役立つような学習に対する支援	4.15	4.19	-0.04	80.8	81.5	-0.76
	25 就職活動に役立つ就職情報提供	4.18	4.21	-0.03	81.3	81.2	0.08
	26 資格や免許を取得することに対する大学の支援	4.03	4.07	-0.05	75.4	76.2	-0.73
	27 社会に貢献できる力を養う教育の提供	4.10	4.14	-0.04	80.7	78.6	2.09
28 大学院進学に役立つ教育の提供	4.00	4.03	-0.03	75.7	74.8	0.83	
学生サポート	29 学生相談やセクハラ相談など、気軽に相談できる環境	4.14	4.14	0.00	82.9	80.4	2.51
	30 心身の健康を維持・促進させる機会の提供	4.12	4.14	-0.02	82.0	80.9	1.07
	31 教員による個別の学習支援や生活支援(例)オフィスアワー制度や学生指導・支援担当教員制度など	4.22	4.21	0.01	84.9	83.7	1.19
	32 ボランティア、課外活動などの社会活動に対する大学の支援	4.15	4.18	-0.03	83.9	81.6	2.24
授業	33 教養教育/共通教育の授業	4.17	4.18	-0.02	83.0	82.2	0.71
	34 学部専門の授業	4.28	4.29	-0.01	85.6	85.4	0.23
	35 英語および異文化理解に関連した授業(教養教育/共通教育)	4.10	4.11	-0.01	78.7	77.5	1.15
	36 キャリアに関連した授業	4.09	4.16	-0.06	79.9	80.6	-0.66
	37 保健体育に関連した授業	4.24	4.26	-0.02	84.6	84.7	-0.15
	38 ITに関連した授業	3.97	4.01	-0.05	73.7	76.7	-3.03
	39 教養教育/共通教育のカリキュラム(教育課程)	4.16	4.17	-0.01	84.9	84.6	0.34
	40 自分の所属する学部(学科等)のカリキュラム(教育課程)	4.21	4.22	-0.01	84.5	83.8	0.68
	41 アクティブラーニング型(PBLを含む)の授業	4.12	4.15	-0.03	81.1	78.9	2.19
	42 実習をともなう授業	4.30	4.31	-0.02	87.6	85.6	2.01
	43 教員の教育に対する熱意・信念	4.16	4.18	-0.02	82.5	81.8	0.73
	44 教員の教育技術	4.08	4.14	-0.07	79.3	79.9	-0.63
	45 卒業研究指導	4.54	4.49	0.05	90.6	88.9	1.69

※ %は、各項目に回答した学生数を分母としたときの割合である。

>=4.25	>=4.1	>=85	>=80
>=+0.1	>=+0.05	<=-0.05	<=-0.1

付録2 平成30年度と令和元年度の満足度平均値と満足群について(修士課程・博士前期課程)

カテゴリ	項目	平均値			満足群		
		R1	H30	R1-H30	R1	H30	R1-H30
大学全般	1 三重大学大学院の教育全般	4.34	4.18	0.16	82.3	78.4	4.0
	2 三重大学大学院の研究水準	4.42	4.27	0.14	84.3	78.6	5.8
	3 学生の意向(授業評価など)が教育に反映されるなど、三重大学大学院の教育を改善しようとする大学の姿勢	4.06	3.87	0.19	73.3	66.7	6.7
	4 事務職員の窓口での学生対応	4.55	4.34	0.21	82.8	81.3	1.5
大学院の教育	5 大学院の授業科目構成	4.24	4.08	0.16	78.0	71.5	6.6
	6 大学院の授業	4.29	4.17	0.12	78.7	76.2	2.4
	7 PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.32	4.11	0.21	82.1	75.8	6.3
	8 最先端の研究や高度専門知識の教授	4.36	4.35	0.01	80.1	81.1	-0.9
	9 現場体験や現場実習	4.29	4.22	0.07	77.9	76.7	1.1
	10 日常的な研究指導	4.54	4.43	0.11	81.0	81.0	-0.1
研究環境	11 学位論文指導	4.58	4.42	0.16	85.4	82.6	2.8
	12 研究を進めるための環境整備	4.38	4.20	0.18	79.0	74.0	5.0
	13 研究設備(IT環境、AV機器、実験設備等)の充実	4.26	4.17	0.09	75.8	74.5	1.4
	14 研究に必要な電子情報(図書、論文雑誌、データベース等)の充実	4.40	4.26	0.14	83.1	80.9	2.1
学生サポート	15 研究室内の人間関係	4.85	4.72	0.13	90.1	86.6	3.5
	16 資格や免許を取得することに対する大学の支援	4.09	4.00	0.09	72.2	69.7	2.5
	17 就職に役立つ情報提供などの支援	4.41	4.29	0.12	85.1	80.4	4.7
	18 博士課程への進学に役立つ情報提供	3.91	3.87	0.05	68.9	68.9	0.0
	19 社会に貢献できる力を養う教育の提供	4.24	4.04	0.19	78.6	75.4	3.3
	20 学生生活に対するサポート	4.27	4.08	0.19	83.0	76.2	6.7
	21 学生相談やセクハラ相談など、気軽に相談できる環境	4.18	3.98	0.20	78.8	74.1	4.7
	22 心身の健康を維持・促進させる機会の提供	4.19	4.00	0.19	79.2	73.3	5.9
23 研究を進めるための財政支援(奨学金制度等)	4.28	3.99	0.28	79.3	70.8	8.5	

※ %は、各項目に回答した学生数を分母としたときの割合である。

※ 満足群は、6段階のうち、「4:やや満足」「5:満足」「6:非常に満足」と回答した学生の割合を足したものである。

付録3 平成30年度と令和元年度の満足度平均値と満足群について(博士課程・博士後期課程)

カテゴリ	項目	平均値			満足群		
		R1	H30	R1-H30	R1	H30	R1-H30
大学全般	1 三重大学大学院の教育全般	4.70	4.36	0.33	91.1	84.8	6.2
	2 三重大学大学院の研究水準	4.68	4.50	0.18	86.0	86.8	-0.8
	3 学生の意向(授業評価など)が教育に反映されるなど、三重大学大学院の教育を改善しようとする大学の姿勢	4.47	4.28	0.19	77.4	80.0	-2.6
	4 事務職員の窓口での学生対応	4.72	4.38	0.34	86.2	76.5	9.7
大学院の教育	5 大学院の授業科目構成	4.71	4.46	0.25	89.3	80.0	9.3
	6 大学院の授業	4.66	4.55	0.12	89.3	86.4	2.9
	7 アクティブラーニング型(PBLを含む)の授業	4.61	4.48	0.13	84.2	82.0	2.2
	8 最先端の研究や高度専門知識の教授	4.75	4.69	0.05	89.1	89.7	-0.6
	9 現場体験や現場実習	4.73	4.63	0.10	92.5	87.0	5.5
	10 日常的な研究指導	5.04	4.75	0.28	93.0	85.5	7.5
研究環境	11 学位論文指導	5.02	4.71	0.31	89.1	89.4	-0.3
	12 研究を進めるための環境整備	4.58	4.41	0.17	84.2	80.3	3.9
	13 研究設備(IT環境、AV機器、実験設備等)の充実	4.63	4.45	0.17	87.5	79.7	7.8
	14 研究に必要な電子情報(図書、論文雑誌、データベース等)の充実	4.40	4.37	0.03	77.2	77.6	-0.4
学生サポート	15 研究室内の人間関係	4.88	4.70	0.18	87.5	87.9	-0.4
	16 資格や免許を取得することに対する大学の支援	4.46	4.22	0.25	82.9	78.3	4.7
	17 就職に役立つ情報提供などの支援	4.88	4.28	0.59	96.9	76.1	20.8
	18 博士課程への進学に役立つ情報提供	4.45	4.34	0.11	83.3	74.5	8.9
	19 社会に貢献できる力を養う教育の提供	4.57	4.42	0.15	89.4	78.9	10.4
	20 学生生活に対するサポート	4.56	4.32	0.24	88.9	82.5	6.4
	21 学生相談やセクハラ相談など、気軽に相談できる環境	4.56	4.30	0.26	88.4	79.6	8.7
	22 心身の健康を維持・促進させる機会の提供	4.43	4.21	0.22	83.0	72.4	10.6
	23 研究を進めるための財政支援(奨学金制度等)	4.28	4.38	-0.10	80.0	78.3	1.7

※ %は、各項目に回答した学生数を分母としたときの割合である。

※ 満足群は、6段階のうち、「4:やや満足」「5:満足」「6:非常に満足」と回答した学生の割合を足したものである。

≧4.5

≧+0.1

≧85

≧+5

<=-0.1

<=-5